

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

弊社は、土木、舗装、管、水道施設、消防施設の工事一式を請け負う会社です。工事を通じて自然と人との調和を考え、社員・家族がひとつとなり、物心両面の幸せの実現を目指すとともに、地域の環境・空間造りを真剣に取り組めます。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	労働災害を未然に防ぎ、従業員の安全と健康を守る	2023年 ゼロ件→2026年維持
☒ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	省エネタイプの設備機器の販売量の拡大 (トイレ機器、ボイラーなど)	販売金額 2023年度 2000万円 2026年度 3000万円
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	後継者づくりのための出張講義内容のレベルアップ ※業界のSDGs貢献や取り組みを取り入れる (小川工業高校、熊本工業高校)	出張講義回数 2023年度 4回 2026年度 4回

<パートナーシップ>

地域に必要とされる企業となるべく、地域と更なる連携を深め自社とお客様、取引先との強い信頼関係を構築し、企業内部においても、社員一人一人が生き生きと輝き、より働きやすい環境づくりに取り組みます。

- ・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。